問題解決の手順

1. 問題解決とは

　　　基本的に以下の流れで繰り返し行われる。

　　　① 問題の発見と（　　　明確化　　　　）　→　② 情報の収集　→　③ 情報の整理と分析

→　　④ 解決策の決定　　→　　⑤ 解決策の実施と結果の評価

1. 問題の発見とは

問題と思っていないことを問題として（　　　意識化　　　　）すること。どこかにあるはずの問題を探してまわることではない。日常生活で出会う困ったことや不便なことなど，普段解決すべき問題とされない問題を見つける。

1. 問題の明確化（問題の定義）

問題解決とは，（　　　現状　　　）と（　　　理想　　　）を比較し，そのギャップを埋めていくことである。そのギャップを明確にすることが問題の明確化である。以下の手順で行う。

① 問題に対して，あるべき理想の状態を明確にする。必要であれば情報収集もする。

② 現状をその理想に近づけるためには，そもそもどんな情報を収集すればよいかを考える。  
このとき，問題が（　　　変質　　　）しないように注意すること。さまざまな思いこみから，本来の問題とは異なる問題にすりかえられてしまうことがある。

問題の明確化をやってみよう

発見された問題「スマホをつい使いすぎてしまう」について明確化していこう。

① 理想の設定をしよう

解決策を実施したあとにどのような状態になっていれば問題は解決されたといえるか？あいまいさがあってはいけない。具体的に設定しよう。また，その際に根拠があることも大事である。なぜその状態が理想であるとしたのか？説明できるようにしておこう

下記に思いつく限りたくさん挙げていこう。

|  |
| --- |
|  |

今回は，理想を「　　スマホの使用時間が２時間以内　　　　」とする。

根拠は，（　　総務省　　）の調査によると，ネット依存傾向が（　　低い　　）人の平均スマホ利用時間が（　120　）分であったから。

② 現状と理想を比較して問題を明確化するためには，そもそもどんな情報を収集すればよいかを考える。

現状と理想のギャップを知りたい。そのためには，そもそも現状はどうなのか？他に知りたいことは何か？そこからさらに知りたいことはないか？を考えていこう。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 何を調べる？収集すべき情報は？ | 収集すると何がわかる？ | このあとどうなる？ |
| 現在の利用時間は？ | 利用時間をあと何時間減らすべきかわかる | そのアプリを制限もしくは削除すれば？といった解決策につながる |
| 何に利用しているのか？  アプリごとの使用時間は？ | どのアプリの使用時間が多いかわかる。 |
| そのアプリの必要性は？  それぞれのアプリの優先順位は？ | 必要性が低く，使用時間が多いアプリがわかる。 |

まとめ

問題解決の手順を確認しよう

1. 「スマホを使いすぎてしまう」のでは？と気づいた。（問題の発見）
2. 根拠となる情報をもとに，「使用時間が2時間以内」という理想を設定した。（問題の明確化１）
3. その理想に近づけるために「現在の利用時間は？」「何に利用しているのか？」等，  
   何を調べればいいのかを明確にした。（問題の明確化２）
4. 実態調査やアンケート等で，3で挙げた疑問を解消する情報を収集する。(情報収集)
5. 収集した情報を整理分析し，不必要で使用時間の多いアプリを発見する。（情報の整理と分析）。
6. そのアプリをアンインストールすればよい。（解決策の決定）
7. そのアプリをアンインストールし，後日再び実態調査を行い，スマホ利用時間が2時間以内になったことを確認する（解決策の実施と結果の評価）

【感想】

|  |
| --- |
|  |